

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明		
家計 動向 関連 (中国)	良く なっている やや良く なっている	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・菓子パンを中心に単価の低い商品の売上が良い。		
		商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の売り出しはあまり良くなかったが、人出はあった。		
		一般小売店〔紙類〕（経営者）	お客様の様子	・地元買物客の来店数が増加している。		
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前年同月比100%を上回っている店舗が半数あり、先月より少し良くなっている。ただし、前年12月は倉敷のアウトレット等のオープンで大きく売上が落ちた月であることから、ようやく通常の状態に戻っただけである。今後の売上状況を注視する。		
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・これが好調なら全体の売上が良くなるといわれる紳士物が3か月連続で好調である。		
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・買上単価は若干伸びているが、客動向は必要なものを少量だけ買う感じで家計状態はまだ厳しい。		
		乗用車販売店（副店長）	それ以外	・政権が交代して大型の景気対策が期待されるため、円安に振れている。		
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・世の中の雰囲気は少し明るくなり、株価上昇や円安などマスコミ情報の影響もあり景気が良くなる感が出ている。		
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・季節商材が早めに動いた。		
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	単価の動き	・自民党が政権を奪回し、経済対策の方向性が出されたことから心理的な期待感が出てきたが、消費に対する前向きな傾向はまだない。ただ12月に入り目的買いの状況が見られ、客単価が上昇している。		
		その他小売〔ショッピングセンター〕（運営担当）	来客数の動き	・施設への来場者数は改善の兆しを見せており、客単価も上がっている。また今年の年末年始は大手企業を中心に長期休暇が見込めることもあり、冷え込んだ消費者マインドの喚起に期待している。		
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・宴会利用は忘年会が前年に比べて件数・客単価とも上がっている。宿泊客も12月は利用が多く、稼働率が高くなっている。		
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・宿泊客、レストランの来客数は若干増えている。		
		テーマパーク（広報担当）	来客数の動き	・クリスマスのイベントが好調で、地元客、県外からの団体客ともに前年より大幅に増加した。		
		競艇場（職員）	販売量の動き	・12月24日のレースでの売上があったことと、29～31日の売上が期待できる。		
		その他レジャー施設（アミューズメント）	来客数の動き	・映画館で話題作の公開があり、娯楽目的で施設に来店する客が増え、当店の来店数も前年より15%ほど回復している。特に関連するキャラクターグッズの景品ゲームが集中して利用されている。		
		設計事務所（経営者）	販売量の動き	・戸建て住宅の引き合いが増えて売上が少し増加している。ただし、以前より予算が厳しいなかで建築物価は上昇しているため、引き合いが増加している割には具体化しないケースが増えている。		
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注に関しては、消費税の問題で客が現在動いている状態である。		
		変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・昨年末に比べて客の購買額と来店頻度が下がっている。
				商店街（代表者）	単価の動き	・客の購買意欲がなく、12月の売上は前年より悪い。
商店街（代表者）	来客数の動き			・選挙による影響が前半にあったが、後半の人出は多かった。そのなかでも売れる店と売れない店の差は出た。		
一般小売店〔靴〕（経営者）	販売量の動き			・販売量の動きが悪く前月を割っている。専門店やショッピングモールの店でも同様である。		
一般小売店〔酒店〕（経営者）	来客数の動き			・お歳暮用品は例年通りの売上であったが、業績悪化で最低限の数に絞った得意先もあった。飲食店は忘年会シーズンの影響で第2～3週の週末にはにぎわいを見せたが全体的には低調だった。		

百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・お歳暮については法人の落ち込みに加えて個人でも件数の絞込みが目立っている。クリスマスギフトも低単価商品が人気を集めるなど、依然客の価格目線は厳しい。高級婦人服や宝飾といった高額品の動きも低迷している。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・衣料、食品関係は厳しい状況である。特に寝具関係や絨毯、タオルなどが前年に比べて悪い。アパレル関係が仕掛けをしているアイテムは順調であるが、まとめ買いは減少している。おせちやお歳暮は単価と件数が減少している。株価が上昇し円安になっているが、客の財布のひもは固いままである。
百貨店（売場担当）	来客数の動き	・閉店売りつくしという特殊条件のなかで、先月から今月中旬までは予想通りに推移したが、さすがにそれ以降は落ちてきている。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・美術品は高額な物も売れるが、宝飾品は厳しい状況である。
百貨店（販売担当）	単価の動き	・来客数、客単価共に前年から8%ほど落ち、年末に向けて量販店や大型商業施設への流出が大きい。
スーパー（店長）	販売量の動き	・3か月前に比べて客1人当たりの買上点数が前年より落ちている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・衣服や住居・余暇商品の動きが悪い。消耗品や食品に変化はない。
スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・催事やイベント時は一時的に売上、客数とも上がるものの累計で見るとほとんど変わらない。年末年始が過ぎてみないとよくわからない。
スーパー（販売担当）	販売量の動き	・年末ということもあり、消耗品・生活必需品は比較的好調に推移しているものの、衣料品や家具等、単価の高い商品の動向は依然厳しい。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3か月前と比較して売上と客数に変化はないが、クリスマス時期の連休の関係で客がスーパーやデパートに流れて前年より悪い。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の減少傾向は変わらない。
コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・依然として客数の前年割れが継続中である。クリスマス商戦の売上も前年割れで終わった。
家電量販店（店長）	販売量の動き	・客の購買意欲はあるが、経済的な先行き不透明感のため買い控え傾向で、販売量は厳しい状況である。
家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・クリスマスセール・歳末セールで程々の来客数はあるものの、そこまで改善していない。景気が良くなっているとは言えない。
乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・12月の来客数は毎年厳しい状況である。
その他専門店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・清盛のイベント効果が大きい。
その他専門店〔時計〕（経営者）	販売量の動き	・年末ということ客数、単価とも前月よりも増加しているが、景気が上昇しているとは言えない。客は必要ない物は買わないという感じである。
その他専門店〔海産物〕（経営者）	単価の動き	・相変わらず来客数が例年より少なく、12月のお歳暮商戦では数量は例年並みであるが、購買単価が下がってきている。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・今月は前年並みであるが、予約はまだ不透明である。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・客の利用頻度減少と、外食を敬遠する動きに変わりはない。
一般レストラン（外食事業担当）	来客数の動き	・3か月前と比較して宴会の需要はあるが、それ以外の来客数、特にファミリー客や若者は減少している。宴会は法人関係が減少し、個人利用が増加している。
その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人）	お客様の様子	・12月は例年通り中旬までは客の動きが悪く、年末年始の渋滞予想を見ても客の動きは同じである。
観光型ホテル（支配人）	販売量の動き	・今月は宿泊、宴会部門の売上は好調に推移しているものの、料飲部門は苦戦している。総選挙の影響によるものである。
タクシー運転手	来客数の動き	・忘年会シーズンであるが、忙しい日数が少ない。
タクシー運転手	来客数の動き	・12月10日頃から乗車率は上がった。
タクシー運転手	お客様の様子	・忘年会シーズンであるが、金曜日と土曜日だけ忙しく、以前と違う世界になっている。

	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・タブレット、モバイル、Wi-Fi環境に関する商材は伸びているが売上下降の商材のせいで全体としては変わらない。商材交代すれば新しい需要の方向は見えてきている。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の低価格志向が完全に定着している。
	通信会社（工事担当）	販売量の動き	・申込件数が予想を下回った。
	テーマパーク（管理担当）	来客数の動き	・来館者数、購買金額ともに1割減で推移している。
	ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・例年と比べ今年は選挙や12月の平均気温が低いなど、集客が難しい月となった。
	美容室（経営者）	単価の動き	・年末で忙しくなるが、客の使う金額は必要最低限で売につながらない。
	その他サービス〔介護サービス〕（介護サービス担当）	お客様の様子	・客との話から景気の変化がうかがえる内容は聞かれない。
	設計事務所（経営者）	単価の動き	・相変わらず低価格の商品しか動かない。高額の商品購入は「悪」であるかのような雰囲気漂っている。
	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・全体的に仕事量が少なく、工事モリフォーム等の金額が少ない契約となっており売上高が伸びない。
	住宅販売会社（販売担当）	単価の動き	・住宅購入に際して、自己資金にゆとりのある客が少なく、自己資金そのものも極端に少ない客が増えており、資金流動が引き続き鈍化している。借入限度額の許容・緩和も今のところない。
	住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・毎年客足が冷え込む時期であり、例年と同様である。
やや悪くなっている	商店街（理事）	来客数の動き	・忙しいはずの師走なのに、12月に入ってから客足が少ない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・12月の年末商戦に入っすぐ選挙があったことも影響しているが、全体的に消費は低調である。
	一般小売店〔印章〕（経営者）	お客様の様子	・年末は駆け込み注文が多いが、今年は会社関係を中心に減少している。
	一般小売店〔酒店〕（経営者）	販売量の動き	・選挙の影響もあるが、年末商戦（お歳暮）の売上が大幅に低下している。さらに料飲店は忘年会などが減っており、なかなか売上が上がらない。
	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・11月に引き続き12月前半は防寒衣料・雑貨が好調に推移しているが、ボーナス以降のギフト商戦はアクセサリー全般が苦戦している。クリスマス需要は3連休に集中するが、若干計画を下回った。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・客単価が上がらない。
	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・年末に入っても来客数が増加せず、買上点数も伸びていない。
	スーパー（管理担当）	来客数の動き	・客単価は前年並みであるが、来客数は減少したままである。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・経済的に将来に不安があり、なかなか消費に気持ちが動かない。
	衣料品専門店（地域ブロック長）	単価の動き	・成人式の予約数は前年並みであるが、単価が抑えられている。
	衣料品専門店（地域ブロック長）	来客数の動き	・競合店ができ来客数は減少している。
	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・12月の販売量は前年の83%と大変厳しい状況が続いている。
	その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・選挙の影響で落ち着いて買物をする気持ちにならないのか、年末なのに売上は伸びない。
	その他専門店〔ファッション雑貨〕（従業員）	販売量の動き	・時期的に来客数は多いが、プレゼント需要が前年の半分程度で自分用の購入も最小限度に抑えている。
	一般レストラン（エリア担当）	単価の動き	・忘年会シーズンにもかかわらず、宴会利用も少なく単価も大幅に下がっている。
	都市型ホテル（総支配人）	お客様の様子	・ビジネス客の動きが悪く、宿泊客は前年に比べ2%ほど減少した。原子力発電所の稼働停止の影響も原因の一つと考える。前年と違い当日ぎりぎりになってからの宿泊予約が増加しているのは、やはり企業の経費節約思考の表れである。

		都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・今月に入って選挙等の影響もあり、客の動きが悪くなった。
		旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・12月の総選挙で客の動きが止まった。政権が変わっても景気対策はこれからなので、今後は多少期待できるかもしれない。
		タクシー運転手 通信会社(広報担当)	お客様の様子 販売量の動き	・忘年会の数が少なく、売上は良くない。 ・かなり苦戦している。販売量は増えているが、他社への流出が止まらない状況である。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・ここ数年で今年の12月の来客数と売上が最も悪い。
		設計事務所(経営者)	お客様の様子	・手取り収入額が増えないことに加え、残業及び諸手当の支給が制限されている客も見受けられ、加えて同業者のなかで受注格差が大きくなっている。
	悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・以前の昼の繁忙期がなくなってきている。単価の低いコンビニ弁当などで済ませている傾向にある。
		一般小売店 [茶](経営者)	販売量の動き	・選挙のある月は必ず売上が下がるというジンクスがあるが、一年間で一番売上が上がるこの月で大変厳しい結果となっており、前年を大幅に割り込んでいる。
		百貨店(営業担当)	販売量の動き	・冬物の稼働が鈍く、雑貨・ギフト類の動きも芳しくない。
		スーパー(店長)	単価の動き	・買物単価が下落している。集客のために価格を下げていることもあるが、客の生活防衛の意識が強く、不必要な物は安くても買わない、必要な物はより安い物を購入する意識が強い。
		スーパー(財務担当)	来客数の動き	・12月上旬は既存店の来客数が若干回復傾向にあったが、中旬になって低価格志向による買い回りで来客数がやや減少している。
		テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・冬季イベントを展開しているが、週末ごとに雨天や降雪に見舞われた。特に中旬以降は寒波の影響を受けてこの時期としては異例の積雪となり、客足に大きく影響し、予想していた来園者数を2割下回っている。また集客の目玉となる乗り物は前年より乗車率が3割程度低下し、親子連れを中心に節約志向がうかがえる結果となった。
企業 動向 関連 (中国)	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
		農林水産業(従業者)	それ以外	・11月と8月を比較すると水揚げ数量558t、水揚げ金額1億1820万円の増加である。11月単月では前年比で水揚げ数量2028tの減少で前年の40.4%、水揚げ金額2億4790万円の減少で前年の67.3%である。
		鉄鋼業(総務担当)	それ以外	・政権交代の様子見である。
		金融業(自動車担当)	取引先の様子	・自動車部品メーカーは新型低燃費車の受注が好調で操業は安定している。為替相場が円安になっているため輸出採算が好転している。
		会計事務所(職員)	取引先の様子	・製造業では翌年に向けての受注の引き合いの相談が出てきている。自動車関係でも中国向け部品の発注がやや回復傾向にある。
	変わらない	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・この時期は受注量、発注量ともに多くなる。
		非鉄金属製造業 (経理担当)	受注量や販売量の動き	・製品によって増減があり、一様ではない。
		一般機械器具製造業 (経理財務担当)	受注量や販売量の動き	・国内販売が停滞している。
		電気機械器具製造業 (総務担当)	取引先の様子	・市場価格の下落、販売数量低下により取引先からの発注が減少している。
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・自動車関係の受注量が多く、高水準で推移している。
		輸送用機械器具製造業 (経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・受注内示数量が依然として直近になるごとに減少している。
		その他製造業 [スポーツ用品](総務担当)	それ以外	・直近の円安による輸入材料高騰の影響が大きい。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・1年で一番仕事が多い時期のはずであるが、悪いままである。

	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・大型物件の受注があり、現場技術者の確保に苦慮している。安定した受注環境であるが、決して予断を許さない状況である。	
	通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・製造業関係の客から円安の影響でダイレクトに収益の向上が見込まれており、新サービス検討の感触も良く、来年度につながる提案ができています。	
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・通信機器などの需要の伸び悩み、現状維持の客が多いような状況である。年末商戦で多少上向き期待はあったものの例月より売上高はマイナスである。	
やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・デフレ状況がさらに強くなっている。原料高騰でさらに収益が圧迫されていく傾向が強くなっている。	
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先の中国向け輸出が国政不安の影響により引き続き前年より減少しているが、直近はやや回復傾向にはあるものの低水準基調にある。	
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・年末年始対応の生産もあって生産量は好調を維持している。	
	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・足元、やや緩和傾向にあるものの、尖閣問題による受注減少の影響がある。	
	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・尖閣諸島問題の影響で得意先の中国向けの案件が少なく、当社の受注量は直近3か月（9～11月）とその前の3か月（6～8月）を比べると30%減少で厳しい状況となっている。	
	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・大手メーカーの受注減、中国・欧州の景気減速の影響で家電や産業機器向けの主力製品のマイコンの受注が落ち込んでいる。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量が低迷状況である。	
	輸送業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・一部の客については製造量が増え忙しいが、それ以上に鉄製品の販売不振による製造量の大幅な落ち込みが大きく影響している。	
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・客の生産数量が減少し、リストラも行っている。	
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・多業種の取引先の経営者と話をする機会があり、総じて売上は横ばいもしくは前年割れとなっている。ギリギリの経営を続けている企業も多く、業績改善の見通しがいいなか廃業に追い込まれている企業も見受けられる。消費税率の引上げに備え、個人の住宅購入の話は相応にあるが、地元小売・サービス業の業況から消費回復の兆しをみることはできない状況である。	
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来店数と成約件数が減少している。	
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年末年始の受注量が減少傾向で、クライアントの予算削減等により下方に推移している。年末年始の販売拡大のための営業戦略も予算が取れず悪い方向である。
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-	
(中国)	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・老人福祉施設が常勤の社員募集をしているが、なかなか集まらなると人事担当者が嘆いていた。介護補助なので資格は不要であるが、それでも集まらない。給料は高くないが、これまでは募集をかければすぐ埋まっていたのに、気分的に景気が上向きムードで新たな求人へ乗り出す事業所が増えたためとみている。
		民間職業紹介機関（人材紹介担当）	それ以外	・年末年始のイベントなどにかかる消費が若干ではあるが増加しているという情報がある。
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・前年同時期と比べて派遣求人依頼数が落ちた込んだまま推移している。人材紹介に関しても同様である。	
	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・企業側の求人数が減っている。	
	求人情報誌製作会社（広告担当）	採用者数の動き	・雇用に関して、採用人数を前年より増やすという企業が少ない。	
	求人情報誌製作会社（採用支援担当）	求人数の動き	・景気指標が良くないので求人数も減少すると想定していたが、直近の求人数と弊社の売上などは堅調に推移している。	

	職業安定所（産業雇用情報担当）	求人数の動き	・有効求人倍率は6か月連続で1倍を超しているが、新規求人数はフルタイム求人が減少し、パート求人が増加しており、景気が上向いているわけではない。
	民間職業紹介機関（職員）	雇用形態の様子	・採用意欲は戻りつつあるものの採用難易度は依然高止まりのままであり、正社員採用の選考が急遽非正規雇用での採用方針に変わるなど、採用に慎重である。
	学校〔短期大学〕（学生支援担当）	求人数の動き	・特に変化はない。
	その他雇用の動向を把握できる者〔労働機関〕（職員）	求人数の動き	・求人は年度末までの一般事務職や保育士の臨時求人と、居酒屋・ラーメン店の新規オープンに伴うホールスタッフや調理補助のパート募集があった飲食サービス業では大幅増加となった。しかし、他業種が低調に推移したため求人全体では微増にとどまった。
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・10月に雇用保険の資格喪失者のうち解雇されたのは975人で前年同月比70.2%の増加である。電機機器製造会社の人員削減などが要因で、解雇率も11.3%と前月より3.7%悪化した。
	職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・有効求人数の伸びが前年同月比12%増と先月までの17～18%増に比べ減少している。新規求人数も、年末年始のアルバイト求人を含めても3か月前の求人数を下回っている。
	職業安定所（産業雇用情報担当）	求人数の動き	・新規求人数は3か月前と比べ4.3%、新規正社員求人数は6.6%減少している。増加している求人といえば食料品製造業や卸・小売業からの年末年始商戦に対応するための臨時求人が目立つ。
悪くなっている	-	-	-